

## 第3章 松浦市の産業振興の課題と今後の方向性

### 1. 松浦市の産業振興の主な課題（前ビジョンからの継続課題を含む）

松浦市の産業振興を図る上で、現状で松浦市を取り巻く主な課題を整理すると以下の通りとなります。これは、前ビジョンからの継続課題をメインとして、その後のコロナ禍を経て、社会情勢等の動向を反映し整理したものです。

#### 課題1：人手不足対策、雇用創出、人材確保、事業承継

少子高齢化の流れの中、増々人口の減少は進み、地方における人手不足対策、人材の確保、労働力の確保は厳しさを増すものと思われます。

一方で、働き方改革による雇用条件の緩和や企業に求められるコンプライアンスの強化、技能実習制度の見直しによる外国人労働者雇用の仕組みづくりの変化など、雇う側の取組みや姿勢といったものも問われる時代となっています。また、小規模事業者においては、後継者不足により事業承継が今後さらに深刻になることが考えられます。

このような中、企業誘致活動や既存市内事業所の環境整備により、新規雇用の創出に努め、少しでも多くの雇用の機会が増え、魅力ある事業の承継が行われ、地域に賑わいと活気のある状況を創り出していくことがとても重要となってきます。

#### 課題2：新たな創業事業者の支援

産業競争力強化法に基づき、令和5年12月に創業支援計画（令和6年度～令和10年度）の更新認定を受け、創業支援事業者と連携して創業支援に取り組んでいます。本市には農林水産業をはじめ石工業、エネルギー産業、観光業、製造業など様々な産業が息づいています。

これらの既存産業の振興とともに、商工関係団体、金融機関、行政による創業支援連携会議を中心として、創業を希望する新たな事業者の創出、支援を進めていく必要があります。

#### 課題3：地元で頑張る事業者の支援、支援制度の周知徹底

多くの市民の働く場となっている市内事業所が永続的に事業を継続できるよう事業者の課題や人材育成などニーズを的確に捉えながら支援制度の充実や支援体制の強化を図る必要があります。

また、本市においては、補助金や専門家派遣等の各支援制度、企業の魅力等をホームページ・市報・フェイスブック等を活用して広報したり、松浦商工会議所や松浦市福鷹商工会とも連携して広報活動を行っていますが、情報が事業者や広く地域内・外に行き届いていない実態があります。SNSやポータルサイトを活用した情報発信ツールを構築するとともに、相談しやすい支援窓口の体制整備が必要です。

#### 課題4：物価高騰、技術革新等に伴う支援策の検討

市内の事業者においては、エネルギー価格、原材料価格の高騰、人件費高騰等といった時代の動向から、これらを価格転嫁できず厳しい経営を強いられる状況が続いています。

特に円安や金利上昇の影響により資材や運営資金の調達等への影響もあり、事業の運営展開が厳しい状況にあります。

また一方で、DX、AI、IoTなどの先進技術の導入により、これらの技術を活用推進して事業展開を図っていくことが必要です。特に、新規事業の開発や販路拡大、新たな設備投資、事業の省力化、生産性の向上等、所得の向上を目指した支援策を検討強化していく必要があります。

#### 課題5：コアとなる人流・集客の確保とまちづくりの推進

中心市街地としての商店街の活性化という視点も大切ではありますが、空き店舗の活用には個人資産であるということや居住資産として活用されている実情を勘案すると、全体的な開発は厳しいものがあります。

地域活性化として人々が対流する仕組みを考えると、人流を誘導するコアな施設、空間づくり、商業を中核としたテナントミックスの土台作りに向けた議論が大切だと思います。

そのためにも、西九州自動車道が全線開通した後の本市のランドデザインを見据えつつ、コンパクトなまちづくりと公共交通によるネットワークの連携を視野に入れて、まちづくりの推進を図っていく必要があります。

## 2. 松浦市の産業振興の方向性

本市の産業を取り巻く社会経済情勢の変化や本市の産業の特徴、市内事業者が抱える課題等を踏まえ、本市産業の将来像を前ビジョンに引き続き以下のとおり設定します。

前ビジョンにおける本市のポテンシャルとして以下の柱を掲げておりましたが、これらのポテンシャルを踏まえつつ、新たな改訂版としてのビジョンにおける施策の展開を図ります。

- 豊かな農水産物の存在
- 西九州自動車道の延伸
- 松浦魚市場の再整備
- 国内における体験型旅行の一大拠点
- 高速通信網の整備



挑戦する人と共にイノベーションを起こし、

多彩な産業が生まれ育つまち



本市は、食を支える農水産業をはじめ、エネルギー関連産業、商工業など、多くの中小企業・小規模企業者によって地域の雇用と経済が支えられているまちです。

中小企業・小規模企業者の健全な成長や持続的な発展が地域の活性化の基礎となるため、企業が持つ優れた技術や匠の技、地域のネットワークを活用して、社会の変化に対応したイノベーションを進め、付加価値の高いものづくりやサービスを提供するとともに、豊かな自然の中で息づいてきた松浦の特性を生かした創造的な産業を生み出すなど、新たな価値を創造するまちの実現を目指します。

【基本方針 1】 まつうらの未来を支える産業の成長促進

【基本方針 2】 まつうらを元気づける新たな産業の創出

【基本方針 3】 まつうらの未来を担う人材の確保と育成